

井上明夫新聞 ～日田市議会だより～



昨年の夏は集中豪雨、今年の夏は猛暑でしたが、実りの秋を迎え過ぎやすくなりました。

また、2020年の東京オリンピックの開催が決定したことは日本にとって久しぶりの明るいニュースでした。

今後はアベノミクスが徐々に地方に浸透し、景気回復につながるような政策ができるかが課題です。

一方、昨年の豪雨災害の復旧作業は、農地の遅れが悩みの種ですが、早期復旧と今後の対策のために議会と行政が一体となって頑張っていきます！

9月議会(平成25年度第3回定例会)の結果

パトリア日田の管理運営はどうあるべきか!?

市は来年4月からパトリア日田の運営を、指定管理者に委託できる条例案を提案しましたが、これを審議した市議会総務委員会(議員6人で構成)は「急ぎすぎるのでさらに議論を行う時間が必要」などの理由で、継続して審査するという結論を出しました。

反対意見もあったので、改めて議会最終日に全議員による採決を行った結果、継続審査に賛成12人・反対11人(私が所属する市政クラブ6人・互認会5人)となったので、今後、継続して審査することが決定しました。

私は行財政改革を進める上で、早期の指定管理者への委託が必要だと思ったので、継続審査には反対しました。

今後、早急に審査をして、パトリア日田を充実した内容で効率よく運営するための条例を作るべきだと思います。



市職員の給与を9か月間平均3.23%削減する案を可決

・・・市議報酬の削減案は否決

国からの交付金削減に伴い、市職員と特別職の給与を9か月間限定で下げるのに合わせて、議員の報酬を下げる条例案が市政クラブ(削減率3%・期間9か月)と互認会(削減率5%・期間19か月)から出されましたが、いずれも賛成少数で否決されました。

議員自らの提案が、このような結果になったのは残念です。

今後、議員の報酬と定数については「議会改革特別委員会」で検討されることとなります。

